

ローカル発・シニアのための最新情報

スポーツも人生も後半戦がおもしろい・伝えようアロハの心

発行：ハワイシニアライフ協会 (HISLEA)

Hawaii Senior Life Enrichment Association

Eメール: info@hawaiiseniorlife.org Tel: (808)428-5808 Fax: (808)396-1140 住所: P.O. Box 25355, Honolulu, HI 96825-0355

「ハワイ便り」は毎月5日発行です。諸般の事情により2～3日前後する場合がありますのでご了承ください。

Eメールアドレス、住所等の変更がありました場合は、必ずご連絡くださいますようお願いいたします。

愛媛支部設立

8月27日 (水)

かねて申請の出ていました「愛媛支部」の設立が8月27日に開催されました定例エグゼクティブコミティミーティングで承認されました。支部長及び幹事の方々は次の通りです。

支部長 西村直記 ☎090-1329-1632

nishimura88@lib.e-catv.ne.jp

副支部長 谷川哲也 ☎090-4782-0018

tetsuya@ehime-np.co.jp

事務局長 守谷和久 ☎090-8973-5444

iso@air.ne.jp

支部長の西村直記さんは、作曲家でシンセサイザーの演奏家で海外でも多くの演奏活動をしています。HISLEAの歌もボランティアで作词、作曲していただきました。副支部長の谷川哲也さんは、愛媛新聞社編集局次長の役職にあります。今後、愛媛でHISLEA会員がたくさん生まれることを期待したいと思います。

ハワイ出雲大社・八雲琴奉納演奏

8月8日 (金)

岡田早苗さん (会員)

台風で中止となりました企画でしたが、急遽実施する事になり、一人静かに奉納演奏をさせていただきました。島根県出雲大社の分社である、ハワイ出雲大社は今年鎮座108年を迎えられました。その由緒ある神前にて八雲琴奉納演奏をさせていただき、大変光栄かつ喜ばしい事と思っております。数年前に家元より伝承依頼があり、使命の重さを



感じましたが、お引き受けさせていただきました。それからは鍛錬の毎日で腕の腱鞘炎、背中筋肉亀裂を抱えながら、年月を経てやがて「独り立ちして、伝承に努めてください」とお許しをいただきました。今は奈良県「明日香の響 保存会」にて、古代の心を今に伝えと共に、小・中学生はじめ若い世代の後継者育成に取り組んでおります。

ヨットクラブお喋り会・八雲琴演奏

8月15日 (金) ベリー恵美子さん (ホノルル支部幹事)

先週末のハリケーン一過、今週は紺碧の青空が現れ、アラモアナ・パーク界隈はいつもの佇まいを取り戻していました。今月のおしゃべり会は、西宮から来られているHISLEA会員の岡田早苗さん (生田流箏曲師範・岡田雄咲-おかだゆうしょう) による珍しい八雲琴 (二弦琴) の演奏があるとのこと。丁度口サンゼルスから来ていた長女一家3人もつれて、老夫と共に出かけました。会場には既に白布の小さい舞台が用意され、二弦琴が恭しく据えられています。やがて野田省三理事

の司会で開会。白の着物と黒っぽい袴、淡いピンク色の被布を羽織った岡田さんが先ず八雲琴 (二弦琴) ついて次のように説明されました。「古事記」に出てくる須佐之男命が持っていた「天の召琴」を元に、約200年前に島根県出雲大社に体の病を治すために来られていた中山琴主が神の辞令を受け、大社の敷地の竹やぶに入り竹を切って半分に割り、二本の弦を張って再興されたと言われている。そのために神前楽器として神様の前で演奏されてきました。今の八雲琴は竹ではなく桐で作られています。海の向こうから吹いてくる穏やかな風によって、演奏は独特の静かな調べを醸し出し、私たちをしばし古事記の世界に誘ってくれました。演奏後は楽器と岡田さんを囲んで思い思いに写真に納まり、よい思い出となりました。岡田さんはハワイのシニアハウスも訪問され、13弦のお琴演奏で日本の童謡を歌うボランティアもされたそうです。コーンスープやサンドイッチのランチを楽しんだあと、後半は深田マコ理事の司会で楽しく皆が自己紹介。坂井会長も参加されてご自身の経歴や逸話なども伺えて、盛り上がりました。深田理事の世界各地を巡られた冒険談など、普段はあまり聞けないような体験談も伺えて、楽しいおしゃべり会でした。





ビーチクリーンアップ作戦

8月17日(日)

磯崎栄寿さん(会員)

朝6時30分、日本クラブを中心に各協賛団体、協賛企業などが協力し、ビーチクリーンアップ作戦が実施されました。HISLEAも共催団体としてこのイベントに協力しています。当日は天気にも恵まれ、HISLEAからは23名が参加。全体では約200名が参加してのビーチクリーンアップ作戦でした。全体で1,560ドルの寄付金が集まり、Aloha United Wayに納められました。8月に入り、熱帯低気圧や台風接近による荒れた天気が続いたこともあり、海岸線には沢山のごみが打ち上げられているのではないだろうか、やる気満々での参加でした。しかし、マジックアイランド及びアラモアナビーチの海岸にゴミは無く、意外と綺麗で意気込みが外れた感が有りました。しかし、よく見ると、芝生には大小様々なプラスチックゴミが落ちています。小さなものは餌と間違え食してしまう鳥たちもいるのではないかと思います。約1時間かけて小さなゴミを拾い集めた次第です。6時15分集合、6時30分開始の時間は、普段の私にとって考えられない早朝での活動でした。しかし、公共の場所が綺麗になることは、実に気持ちがいいものですね。私はハワイで仕事をして2年目。ウクレレサークルに参加したことがきっかけでHISLEAに入りました。まだ入会3ヶ月目のニューフェースです。縁あってハワイで仕事をし、フレンドリー

で親切なハワイの人たちに助けられながら仕事をしている思いを持っています。従い、せめてハワイで生活をしている間は、些細なことしか出来ないけれど、ハワイの皆さんのために出来ることをしたいと思っています。このような奉仕活動がありましたらまた参加したいと思っています。

ホノルル支部

ラジオ体操の会

塚原勉さん(理事・ホノルル支部長)

私はラジオ体操を毎週水曜日朝8時半から開催している事は知っていましたが、参加した経験がありませんでした。この度ホノルル支部長を拝命した事を機に、初めて参加させていただきました。やはり朝のアラモアナ公園のシチュエーションが素晴らしい。ラジオ体操の場所からアラモアナショッピングセン

ターを前に見ますと、右側にヨットハーバー、色とりどりのセールヨットが係留しているのが見えます。また、左側を見ますとアラモアナビーチ、そこでは朝8時台で、すでに泳いでいる人達がいるしパドルサーフィンに興じている人や、もう甲羅干しの人達、そして後ろを見ると海の手前の小道はジョギングをする人。よく見ると私どもより相当な年配の方が「足元も軽やかにゼンゼン平気だよ」と言いたげな涼しい顔をして、サッと走り抜けていきます。加えて小鳥のさえずり、そして頬をなでる爽やかなそよ風・・・このような素晴らしいシチュエーションの中でホノルル支部・ラジオ体操が行われているのです。皆さんは学校の体育授業や夏休みを思い出すでしょう。担当の山谷さんからあの懐かしい、首から提げる出席表(スタンプカード)を貰います。出席した際にハンコを押してもらい、15回になりますと、深層水か自然塩がもらえます。10年間位御無沙汰していましたが、直ぐに思い出してきました。流石参加者の皆さんはキチンと決めています。第二体操が終わり、次のフェイ先生のニコニコ元気体操では皆さん大声で笑ったり、大いに発散しています。そして最後に自己紹介・周知事項等があり、散会しました。私もすっかり打ち解けて皆さんと共に笑顔、笑顔で満足しながら帰途に付きしました。このラジオ体操は私のライフワークで欠かせないものとなりそうです。まだ参加されていない皆さんも、どうぞ気軽に参加して下さい。お待ちしております。



ホトギス会(句会)

8月2日(土)

神崎洋さん(マウイ支部長)

初参加の方も含め久し振りに9名と言う大勢の方が参加され賑やかな句会になりました。8月の季題は、「西瓜」と「流星」でした。特選句の一部を下記で紹介します。

- ・まるまるのスイカ見たさに里帰り 育子
- ・縁側に持ち寄る西瓜祖父の家 忠浩
- ・星流る空に響きし鹿の声 愛
- ・山里の空を一筆流れ星 みち子
- ・重そうな西瓜持ち上げ子の得意 富貴
- ・願ひ事告げる間もなし流れ星 富貴

今月は新しく富上様ご夫妻が参加され、日本からいらした岸本さん、大熊さんも加わっていただき賑やかで、楽しい句会でした。来月の兼題は、「露」「秋の蠅」。来月も楽しみにしております!ご健吟ください。

カヌー・パドリング

8月3日(日)

神崎洋さん(マウイ支部長)

風も無く穏やかで澄み切った青空に、恵まれた早朝のキヘイ海岸で15名の参加者の方々と一緒にカヌー・パドリングを楽しみました。今回もキヘイカヌークラブの人達のご協力を得て、2艘の6人乗り双胴船に15人が分乗し、カヌークラブの人達が夫々のカヌーの第1列と第6列に乗り込みました。いつも通りカヌークラブの人達が東西南北夫々の方角を向いてほ

ら貝を吹いてパドリングが始まることを宣言し、それに続くチャントで航海の安全をお祈りしてから全員が協力してカヌーを浜辺から海に押し出し海に繰出しました。この日の海は今までも無いくらいに穏やかだった為か、パドリングの途中でブレイクが時々入り、若い人達はカヌーから海に飛び込んでひと泳ぎ、シニアの人達はカヌーに乗ったままおしゃべりと言う感じでとてもんびりリラックスした雰囲気です。早朝約1時間の海上散歩を楽しみました。全員朝の清々しい空気を身体一杯に吸いながら、美しい海と空を眺め、マウイに居ることやマウイに来たことの喜びを感じることができたことと思います。岸辺では、カヌーで海に繰出したパパ・ママの帰還を待っていたお孫さん3人とその面倒でいささかバテ気味のジジババ、奥さんとお嬢さんの帰りを待っていたパパと下のお子さんなどの姿がありました。今年3度目となったカヌー・パドリングの会は若いカップルやお子さんが多数参加してくれ、いつもとは違ったAt Homeな雰囲気の中で老いも若きも和気藹々と楽しみました。次回はクジラとの遭遇も期待できる12月に開催の予定です。乞ご期待。

第48回ゴルフ月例会

8月23日(日)

神崎洋さん(マウイ支部長)

快晴でさわやかな風が吹く絶好のゴルフ日和になったキング・カメハメハ・ゴルフクラブで、初参加の3名を含め総勢16名が参加し第48



回ゴルフ会が賑やかに開催されました。速いグリーンに苦しめられたのか、午後に向って強まってきた風にスイングを狂わされたのか、予想外に参加者の殆どが実力を出せず、漁夫の利を得た幹事のKenny Kanzakiがグロス80、ハンデ5、ネット75と言うオーバーパーのスコアながら第1回大会以来4年振り2回目の優勝をいただきました。2位には優勝者の相方であるFuki Kanzakiがグロス111、ハンデ34、ネット77で入り、夫婦でワンツーニッシュと言うサプライズが起りました。3位には過去優勝5回の強豪Kanako Tamakiさんがグロス84、ハンデ6、ネット78で入りました。今回をもってマウイ支部ゴルフ会の1年間のシーズンが終り、9月からは新しいシーズン入りとなります。つきましては、取急ぎ過去1年間の各参加者のスコアをReviewした上で、幹事並びに副幹事(小笠原さん)の方でハンデの見直しを行い、9月の大会より全員が優勝を狙える新しいハンデで新年度をスタートすることになります。

①個人順位:(敬称略)

- 1位 Kenny Kanzaki
- 2位 Fuki Kanzaki
- 3位 Kanako Tamaki
- 4位 Joichi Mitsuya
- 5位 Michiko Kishimoto

②ニアピン:(敬称略)

- #3 Miyuki Kino
- #7 Kanako Tamaki
- #10 Kenny Kanzaki
- #17 Yoshiko Rawson

③特別賞

下記の方に特別賞として小笠原農園(仮称)で取れたトマトが贈呈されました。

- Joichi Mitsuya (4位)
- Michiko Kishimoto (5位)
- John Ferguson (10位)





東京首都圏本部

リボンレイ制作講習会

7月3日(木) 赤堀智行さん(東京首都圏支部企画運営部)

東京首都圏支部では、今年度より女性を中心としたサークル活動を以下に示す趣旨でスタートしました。

「ハワイに関する勉強会や情報の交換会」

「関心の高い分野での講話や季節に合ったハワイアンギフト等の制作」

「活動を通して、会員間のコミュニケーションの構築」

「各分野での幅広い知識やスキル等の高揚等々」

内容はプリザーブドフラワー、リボンレイ、ハワイ語等でこの度、第1回目のリボンレイ制作講習会を開催しました。講師には、この分野での専門でもある中井由美子さんを迎えて、リボンレイのレッスン、そして実際に作品を作りました。中井講師のレッスンコンセプトは以下の通りであります。ハワイでのレッスンとほぼ同じにする／ハワイの材料を使い、品質は良いものにする／ハワイの文化の一部を知り、作り、楽しみをシェアする。参加者全員が見事な素晴らしい作品を完成させました。

第12回ハワイ情報部会

7月24日(木) 赤堀智行さん(東京首都圏支部企画運営部)

ハワイ情報部会は実施して3年、12回目を迎えました。この目的は・・・

「各種イベントを通して、会員間の良好なコミュニケーションの構築」

「ハワイに関する多くの情報を得ることで、ハワイ滞在の楽しみが倍加する」

「会員間の情報交換等」

会を重ねるごとに参加者も増え、高い評価も得、ハワイ滞在がより楽しくなったと喜ばれております。今回は会員要望も多くあり「ハワイ島」をテーマとしました。長年ハワイ島でロングステイされ、ハワイ島を知り尽くしておられる支部会員の猪原正太郎さんにお話をいただきました。内容は以下の通りであります。猪原さん自身も写真家であり、それぞれについては素晴らしく綺麗な写真で示していただきました。何故、The big islandなのか／成り立ちと歴史／地理とエリア／農産物とコナコーヒー／ハイウェイを中心とした交通／ハワイ島の



花々／リゾート地と巡り方／火山帯や山々等観光地／コナ、ヒロの町／ゴルフ、マリンスポーツ。最後に、ご自身のハワイ島での過ごし方とハワイ島での本当の楽しみ方をお話いただき、オアフ島ワイキキ同様のいろいろな知識を得たような価値ある見事な講演でありました。

広島本部

中井さんからのお礼

8月23日(土) 中井克洋さん・千津子さん(広島支部会員)

6月のヒスレウィークのときにお世話になった広島の中井です。広島の豪雨災害へのお見舞いありがとうございます。本当にすごい雷雨で、文字通り、滝のような雨と真上から落ちてくる雷が6～7時間続きました。バックビルディング現象といって、高いビルのような積乱雲ができて、それが風で流れるとすぐそのあとに同じように高いビルのような積乱雲がどんどんできていく現象とのことでした。普通なら激しい雷雨はせいぜい30分程度で通り過ぎるので私たちもすぐに止むと思っていましたし、何よりも、雨の量も雷も真上からはっきりなしに落ちてくるので、避難勧告が出てとても建物の外に出られる状況ではありませんでした。地球が温暖化しているせいか気候が極端になりました。被害が出たのは山沿いの住宅地で、とりえず市街地に住んでいる私たちは大丈夫でした。山内さんからも連絡がいつているかもしれませんが、今度、9月13日に広島支部の集まりがありますので、会員に被害があったかはそのときわかると思います。今後とも宜しく願いいたします。



真夏のサロンdeヒスレア

8月8日(金) 穂山幹夫さん(日本地区本部役員)

立秋も過ぎ、連日の猛暑も一段落した8月8日夕刻、恒例の「真夏のサロンdeヒスレア」が、ゲスト30名を含めてハワイ好き(と思われる人たちも入れ)合計70余名の老若の善男善女の参加を得て今年も目黒雅叙園で開催されました。HISLEA日本地区本部役員の武居さん率いるハワイアンバンド、クール・アイランダースの心地よい演奏に耳を傾けながら、ロコモコ、アヒのサラダ、南国のフルーツ等、ハワイ情緒満載のピュッフェスタイルでの夕食を味わい、波路遥かな地にあるハワイに思いを馳せて、歓談に花を咲かせての楽しい真夏の夜のひと時を過ごすことができました。会の冒頭ではハワイから寄せられた坂井会長のお祝いのメッセージが迫田日本地区本部長より披露され、後半では、会員有志の持ち寄りの豪華賞品の抽選会もあり、賞品ゲットに係るそれぞれの身の幸運を慶び、あるいは不遇を嘆く状況に、会場の和気藹々とした雰囲気一段と加速するとともに、さらなる熱気が渦巻くことになりました。3時間余にわたる真夏の夜の宴に名残を惜しみつつ、最後に片山日本地区副本部長の締めにより目出度くお開きとなりました。このイベントを通して、今年もHISLEAを仲立ちとして、ハワイを限りなく愛する心を有する会員及びゲストの方々の交流の輪創りが一段と促進されたとの思いを強くした次第です。また、会の後半の抽選会にソニーオープン帽子2個の田中さん(日本地区本部役員)、群馬名物のねじれうどん5箱の藤生さん(群馬支部副支部長)、外の外装(箱は森伊蔵)と中身の異なる焼酎1升瓶2本の馬場さん(副会長)、賞品の提供をいただき大変有難うございました。法人会員のゲートウエーホールディング(株)の深井様からも富士山麓の水1箱、(株)ジャパンライフデザインシステムズの武藤さんからはハワイ手帳



10冊、目黒雅叙園の梶様からはペア4組のお食事券をご寄付と、参加者全員に100段階でのイベントチケットのご提供をいただきました。これら賞品を提供していただきました法人ならびに個人の会員の皆様、会の運営をより盛り上げていただくことになりましたこと、心よりお礼申し上げます。末筆ながら、また近々皆様とお会いできる日を楽しみに致しております。ALOHA!!

内田佐知子著

「ハワイからの贈り物」を読んで

穂山幹夫さん(日本地区本部役員)

過般のALOHA YOKOHAMA開催の折、静山社の編集担当の三輪真樹子さんがHISLEAのブースに立ち寄られ、名刺を交換する機会を得ました。その後、彼女から本年7月に刊行されました上掲の書のご恵贈賜りました。折角のご縁ですので、会員の皆様に本書のご紹介かたがた読後感も述べさせていただきたく、拙文を認めた次第です。著者は、永年の憧憬の地であったハワイに移住して雌伏10年、幾多の苦節を乗り越え、現在、放送番組のナビゲーター、ライター、通訳等として活躍されている。仕事上で、また個人の生活の場で出会い、著者の心を確と捉えて離さない50人の魅力的な

ロコたちから得たハワイ流の幸せを見つけるヒントを、その鍵となる言葉とともに綴ったものである。本書で紹介するロコたちは様々な境遇や環境に置かれ、貴重な体験を経てきた、生き方に確たる哲学を有するエンタテイナー、アスリート、アーティスト、事業経営者等々、極めて多種多様な人たちである。本書で描かれているハワイは逞しくも謙虚にそしてクリエイティブかつポジティブなロコたちの生きざまの舞台としてのハワイであり、素晴らしい心の楽園としての魅力を湛えたハワイである。ロコたちの生き方や言葉は、ハワイに関心を寄せる人たちはもとより、それらの枠にとどまらず、生き方に日々苦悩する人たちにとっても、ハワイからの感動的な贈り物であり、人生への力強いエールのようにも思われる。著者の言葉を借りれば、「心の栄養剤」となり得るものであろう。是非とも折を見て本書を繙かれることをお勧めしたいと考えている。



Dr.ペイのワンポイントアドバイス — 「慈眼視衆生」（薬師寺管主山田法胤による）

大山廉平さん（会員・顧問）

誰慈眼視衆生（じげんじしゅじょう）〔慈眼をもって衆生を視る〕山田法胤に依る解説（引用）では、「この偈文は『観音経』の終わりに出てくる一句で、佛（ほとけ）・菩薩が慈悲の心をもって衆生を視る眼差しです。」仏教辞典に、「慈は薬を与える、悲は苦を抜く」とあります。母が幼い我が子を育てるときの願望の眼です。医者や看護師、それに教育者にこそ、こういう眼差しになって欲しいと願う次第です。……と諭されておられる。その思いは小生のクリニックに法胤からいただいた「慈眼」を揮毫していただいた額を掲げ、日々医療従事者としての戒めの言葉としている。最近の医療ではあまりに専門分科や臓器別診療が進んでいる。このため、併発する他の疾患への注意が緩慢となっている。更に医師はその現状を肯定しているようにも思える。専門医だから、その専門の診療さえすれば十分である……と。患者側から観ると、長く掛かっていたのに……と。専門性を有しながらもその枠を越え、もっと幅広く見る目を持てないのであるだろうか。最悪はこの慈悲の心を持たないあるいは失った医療者であろう。患者さんの心を診てあげることができなくなるとは、医師と言うよりは修理屋さんに過ぎなくなるだろう。昔から、菩提寺に行くと、ご先祖さまのことが分かり、ご住職さまにお尋ねすると過去帳をもとに。種々の事の話しをお聞きできた。同時に掛かり付け医（ホームドクター）にかかれれば、病気の種類は構わず、相談に乗っていただけた。掛かり付け医はその家族全ての状況を把握しており、最適と思われる治療法を指導していただけた。つまり、患者さんの全体を診て判断されていたのであろう。そのような医師になりたいし、患者としてそのような医師にかかりたく思う次第である。

（東京都福祉保険局・東京都医師会、東京都地域リハビリテーション研修会資料参照）

Mahalo

伝えていこうアロハの心
ハワイと日本から世界に向けて

ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

(\$500) 朝日重剛様
(\$100) 黒田美智子様、(\$100) 鳥海節夫様
(\$70) 山藤義憲様、(\$50) 川村卓司様
(\$30) 西村洋志様、(\$30) 西和田健二様
(\$25) Furuike Mitsumasa様
(\$10) 野中篤子様

2014年7月1日～7月31日

ありがとうございました。

医療相談

名医による無料健康相談

大山廉平ドクター

（会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長）

日本語クリニック

ワイキキ緊急医療クリニック
堀倉史院長

会員証を提示すると、初回無料相談、
血圧測定、滞在中のアドバイス、専門医の紹介等を受けられます。

Bank of Hawaii Bldg. 3階

☎ (808) 924-3399

Eメールで気軽に相談できます。

ご希望の方は、①姓名、②会員番号、
③返信用Eメールアドレス、④病歴、
⑤相談内容を下記メールアドレス宛
お送りください。ご本人のみならず、
ご家族お知り合いの方、病気と断定
できないことでも健康のことでした
らなんでもご相談ください。

Eメール: oyama@saichu.jp

（編集担当：インフォメーションコミッティ 西村ちえ）

インフォメーションセンター

イベント申し込み等にご利用ください・事故、病気等緊急の際は24時間電話相談受付（5時以降は緊急相談のみ）

場 所: ワイキキビジネスプラザ11F #1108A (2270 Kalakaua Ave)

電 話: (808)428-5808

電話応対: 毎日午前9時～午後5時（日本時間: 午後2時～午後10時）

HISLEA・オアシス HISLEAオアシスは改装のため、当分の間閉鎖されます。

当協会の概要、入会案内: www.hawaiiseniorlife.orgをご覧ください。